

謹賀新年

本年もよろしくお願い致します



広報

駒門

KOMAKADO

発行所

駒門自衛隊協力会
事務局：富士岡支所
TEL 0550-87-0976
裾野市自衛隊協力会
事務局：裾野市役所
TEL 055-995-1874

連絡所

駒門駐屯地広報
〒412-8585
御殿場市駒門5-1
TEL 0550-87-1212

印刷所

エビスLLC
〒412-0021
御殿場市二枚橋312-1
TEL 0550-70-0022



新春のお喜びを申し上げます。「駒門」をお読みの皆様には日頃からの駒門駐屯地に対するご支援・ご協力に対し深く感謝申し上げます。年頭に当たり紙面を拝借して改めて当駐屯地の紹介をさせて頂きたいと思っております。駒門駐屯地は昭和十一年に陸軍の富士裾野演習場廠舎としての開設を原典とし、昭和三十五年「駒門駐屯地」としての歴史を歩み始めました。この間、第一特科連隊をはじめ第一機甲教育隊や第一戦車大隊等の移駐・廃止や現存する駐屯地の新編等を経て現在の状態に至っております。当駐屯地は多様な特性を備えた部隊が一堂に会しており、教育・人材育成に任ずる国際活動教育隊および機甲教導連隊、有事即応する第二高射特科大隊、演習参加部隊はもとより近隣駐屯地の燃料油類の補給を支える富士燃料出張所、そして駐屯部隊の活動を支える駒門駐屯地業務隊はじめ各諸隊が駐屯しております。これら部隊はそれぞれの親部隊（いわゆる上司）が異なり、それぞれの業務はそれぞれの親部隊の指揮を受けて行われます。従って駐屯地司令は駐屯各部隊に対して駐屯地の維持運営に関することに限って指示することはできませんが、作戦行動や訓練といった「本業」に関して物言う権限はなく、各部隊がその任務・役割に基づいてそれぞれ行動します。卓近な例えにはなりますが、駐屯地司令は「宿屋の亭主」のようなイメージであり、駐屯部隊が駐屯地の維持運営等に貢献してくれる限り（宿賃を支払っている限り）、各部隊の本業（作戦行動や訓練）には口をはさむことはできません。年始から少々くだい話にはなりましたが、これらの特色ある部隊が持ち味を活かしつつ共存しているのが駒門駐屯地であります。我々隊員一同、今年も精進して参りますので、旧年同様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



機甲教導連隊長
兼ねて
駒門駐屯地司令
1等陸佐
岩男 保博

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様方には恙無く新年を迎えられたと思います。昨年からコロナ問題も落ち着き、世の中が動き始めた様な感じですが、駒門駐屯地の皆様は何の変わりなく訓練教育に参加され、誠に御苦労様です。今年も雪シーズンになり、大雪の除雪作業が自衛隊に頼られております。本来、国防が主任務の自衛隊が、災害派遣などに駆り出される姿は国民の支持を得ていますが、一方で、自衛隊が便利屋で良いのかとの声も有ります。自衛隊は今、宇宙やサイバー問題などの新任務が多様化する内（なか）組織として相当無理を重ねているようです。災害派遣などで演習や訓練時間が削られれば国防に直結し、練度や現場指揮官の危機感が高まっていると言われています。自衛隊本来の使命について議論を深めるべきと思います。本年も隊員の皆様、御身体を大切に益々のご活躍を心から祈念申し上げます。



裾野市自衛隊協力会
ごあいさつ
会長 **志村 宏之**

謹んで新年のお慶びを申し上げます。駒門駐屯地の隊員、ご家族の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと存じます。隊の皆様には、日本の平和と独立を守るための活動・日夜訓練に務めていただく一方、国連平和維持活動や災害派遣の救援活動など、これ迄の様々な活動に対し、多くの地区民が感銘を受け、その任務の重要性が理解されているものと認識しております。また日頃から富士岡公園まつり、文化祭、吉田祭、中学生の駐屯地訪問など様々な形で、富士岡地区へのご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。今後とも、駒門駐屯地と駒門自衛隊協力会との互いの支援活動が、自衛隊及び地区発展の一助となる様、信頼関係を強めて参りたいと思っております。入隊を志望する若者たちを送り出すなど応援させていただきます。年頭の挨拶と致します。



駒門自衛隊協力会
ごあいさつ
会長 **勝間田正司**

令和6年に二十歳（はたち）を迎える隊員の紹介

令和六年に二十歳（はたち）を迎える、機甲教導連隊、第一高射特科大隊及び富士燃料出張所の隊員、計二十二名を紹介致します。無事に二十歳の年を迎えることができ、立派な社会人、自衛官となれるよう、日々努力していきたいと思っております。二十歳という節目の年を迎え、これまで支えて下さった方々に感謝いたします。自衛官として社会に貢献できるように頑張ります。今まで自分を育ててくれた方々に感謝するとともに、社会人としての責任を果たし、国民から信頼される自衛官になります。二十歳を迎えるにあたり、自衛官として、これからの心身を鍛え、恐れることなく積極的、新しい事に挑戦したいと思っております。二十歳を迎えるにあたり、職務や私生活において、積極的な挑戦、先輩方に早く追いつける様に日々、努力していきます。

第2中隊 佐藤 智哉
無事に二十歳の年を迎えることができ、立派な社会人、自衛官となれるよう、日々努力していきたいと思っております。

第2中隊 星野 匡哉
二十歳という節目の年を迎え、これまで支えて下さった方々に感謝いたします。自衛官として社会に貢献できるように頑張ります。

第3中隊 尾立原 優人
今まで自分を育ててくれた方々に感謝するとともに、社会人としての責任を果たし、国民から信頼される自衛官になります。

第3中隊 飯塚 明回香
入隊して約二年、二十歳を迎える今、後輩もでき先輩として、後輩も責任を持って訓練や業務に積極的に邁進したいと思います。

戦闘中隊 松野 咲博
二十歳を迎えて、今まで以上に言動に責任を持ち、上司や部下から立派な「成人」として見ていただければと思います。

戦闘中隊 森井 大也
二十歳を迎えるにあたり、毎日が勉強といふ意識を持ち、日々成長するよう努めていきたいと思っております。

戦闘中隊 和氣 拓哉
二十歳を迎えるにあたり、意識したいことには感謝の気持ちで忘れずにと、一人前の自衛官として認められるよう日々、一歩前へ成長してまいります。

偵察隊 高越 海斗
自衛官として二十歳を迎えることになり、一人前の自衛官として認められるよう日々、一歩前へ成長してまいります。

偵察隊 高橋 瑠生
二十歳を迎えるにあたり、自分自身に責任を持ち、チャレンジな気持ちで頑張りたいと思っております。

本管中隊 手塚 舞翔
無事に二十歳という節目を迎え、嬉しく思います。今後は、成人としての自覚と責任を持つ行動を心掛けてまいります。

本管中隊 吉田 祥真
私が無事に二十歳を迎えることができ、家族や友人のおかげです。これからは感謝の気持ちを返し、しっかりと努力してまいります。

本管中隊 岩井 優人
二十歳としての自覚を持ち、お世話になった方々へ感謝の気持ちで忘れず、何事にも挑戦し続けるように努力してまいります。

本管中隊 石川 雅奈
人生の節目となる二十歳を迎えられました。これからは成人としての自覚と責任を持ち、周りの人達と協力して行動していきたいです。

情報情報中隊 小見川 雄太
今まで育ててくれた両親、お世話になった人に感謝を忘れず、自衛官としてこれからも成長し続けられるよう日々精進していきます。

情報情報中隊 富野 翠果
二十歳になり、社会人としての知識や能力を向上できるように、日々精進していきたいです。

情報情報中隊 奥田 将太
遂に二十歳を迎え、今まで以上に自分の行動に責任を持ち、これからは謙虚な姿勢を忘れず、人にとって尊敬される様な人間になります。

情報情報中隊 福井 稔亮
二十歳を迎えるにあたり、私の抱負は、何事にも一生懸命取り組む、陸曹になるための知識、技能を磨くことです。

高射中隊 石井 未心
二十歳として、また陸曹を目指すものとして、より一層仕事に力を入れ、これからは頼られる人間になりたいです。

高射中隊 金子 和佳奈
まだまだ実感はわきませんが、一人の大人として自分の気持ちを相手に伝えられるようにしていきたいです。

富士燃料出張所 清水 恵美
社会人また、自衛官として自覚を持ち、両親をはじめお世話になったすべての方々に感謝し、少しでも返返しできるように頑張ります。

駒門駐屯地

富士山すそのラリー2023大会

令和五年十一月五日(日)裾野市運動公園において、「TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 第10戦富士山すその」大会が開催された。その企画である「働く車」ブースにおいて、16式機動戦闘車及び1/2tトラックを展示し、イベント開催に華を添えた。併せて陸上自衛隊に対するご理解とご協力を呼びかけ、イベントについては大盛況のうちに閉幕した。



16式機動戦闘車に興味津々の来場者



裾野市のゆるキャラ「すそのん」と16式機動戦闘車のコラボ

富士岡公園まつり

令和五年十一月十一日(土)御殿場市に所在する富士岡公園において第21回富士岡公園まつりが開催された。駒門駐屯地は、テント二十二張、机四十脚、紅白幕七枚を設営し、会場運営を支援したほか、軽装甲機動車及び1/2tトラックの装備品を展示し、自衛隊に対するご理解とご協力



祝辞を述べる駒門駐屯地司令



お子様連れの来場者に人気の軽装甲機動車及び1/2tトラック

機甲教導連隊

連隊持続走競技会

機甲教導連隊は、令和五年十月二十一日(土)駒門駐屯地内に4kmのコースを設定し、持続走競技会を実施した。教育支援真っ盛りの中、中隊等の名譽のため、自分の意地のために、寸暇を惜しんで練習してきた結果、中隊等對抗の部では第四戦車中隊が優勝を決めた。四中隊は、今年度末に部隊改編を控えており「第四戦車中隊」として最後の持続走競技会で有終の美



最速の男が決定!! 2 Gpのスタート



優勝 第4戦車中隊

第一高射特科大隊

令和五年度大隊銃剣道競技会

第一高射特科大隊は、令和五年十一月二十九日(水)、駒門駐屯地において、戦技能力向上、部隊の団結の強化、隊員の士気の高揚を図ることを目的とし「令和五年度大隊銃剣道競技会」を実施した。本競技会において、中隊對抗方式の団体戦及び階級別等の個人戦を実施した。本競技会参加に当たり、各中隊は年



声援を受け奮闘する陸士隊員



見事2連覇した本部管理中隊

高射直接支援隊

第一後方支援連隊武装走競技会

高射直接支援隊は、十二月十二日(火)及び十三日(水)、朝霞訓練場で実施された第一後方支援連隊武装走競技会に、一コチーム三〜五名の計六コチームが参加した。グループごとに結束力を発揮し、体力・気力の限界に挑んだ。全隊員が第二整備大隊の成果に貢献するとともに、令和五年一月に実施される、第一師団武装走競技会に向けての手ごたえと、今後の練習についての資を得る事ができた。



チーム一丸となり激走する隊員

国際活動教育隊

第55期上級陸曹特技課程「国際活動」



89式小銃の操作について訓練する隊員

国際活動教育隊は、第55期上級陸曹特技課程「国際活動」を令和五年十一月十三日(月)から十二月八日(金)までの間、約一カ月にわたり実施した。本課程教育では、国際平和協力活動等についての座学及び実習から、キャンプ富士での米軍研修等、幅広い教育を経た後、実践的な総合訓練を実施し、現地における小部隊指揮官としての指揮能力の向上を図った。学生たちは短い教育期間の中で、真剣に教育に取り組み、技能向上にまい進した。教育を修了した学生たちは特技「国際活動」を取得し、今後、国際任務での活躍が期待される。

駒門駐屯地業務隊

方面兵站実動訓練



補給品(飲料水)を積載する隊員

令和五年九月四日(月)から八日(金)までの間、駒門駐屯地業務隊は「方面兵站実動訓練」に参加して、南海トラフ地震災害時に開設される、方面前進兵站基地における各種調整及び、補給品(飲料水)の払出・積載・輸送の一連の行動を演練し、大規模地震災害時における後方支援基盤の強化を図った。今回は実動訓練による成果を踏まえ、明らかになった施設運営上の問題点と対策を案出して計画を修正する等、今後の業務の資を得ることができた。引き続き、各部隊が安心して任務を遂行できる環境構築に努めていきたい。

転入指揮官紹介

第一後方支援連隊 第二整備大隊 高射直接支援隊長



一尉 内山 和哉

転出指揮官紹介

第一後方支援連隊第二整備大隊 高射直接支援隊長 一尉 北村 貴広 転出先：中部方面後方支援隊(桂)

定年退官予定者

- 機甲教導連隊 三曹 小坂 永治 令和六年二月九日(金)
第433会計隊駒門連絡班 准尉 内田 幸也 令和六年三月(予定)
東部方面輸送隊駒門自動車教習所 三佐 小林 輝臣 令和六年五月十六日(木)
関東補給処富士燃料出張所 二曹 松田 英俊 令和六年五月二十一日(火)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様につきましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。駒門駐屯地全隊員、心新たに気持ちで訓練等に邁進していく所存です。本年もよろしくお願致します。

Twitter 祝 1万人突破!



フォローお願いします!